

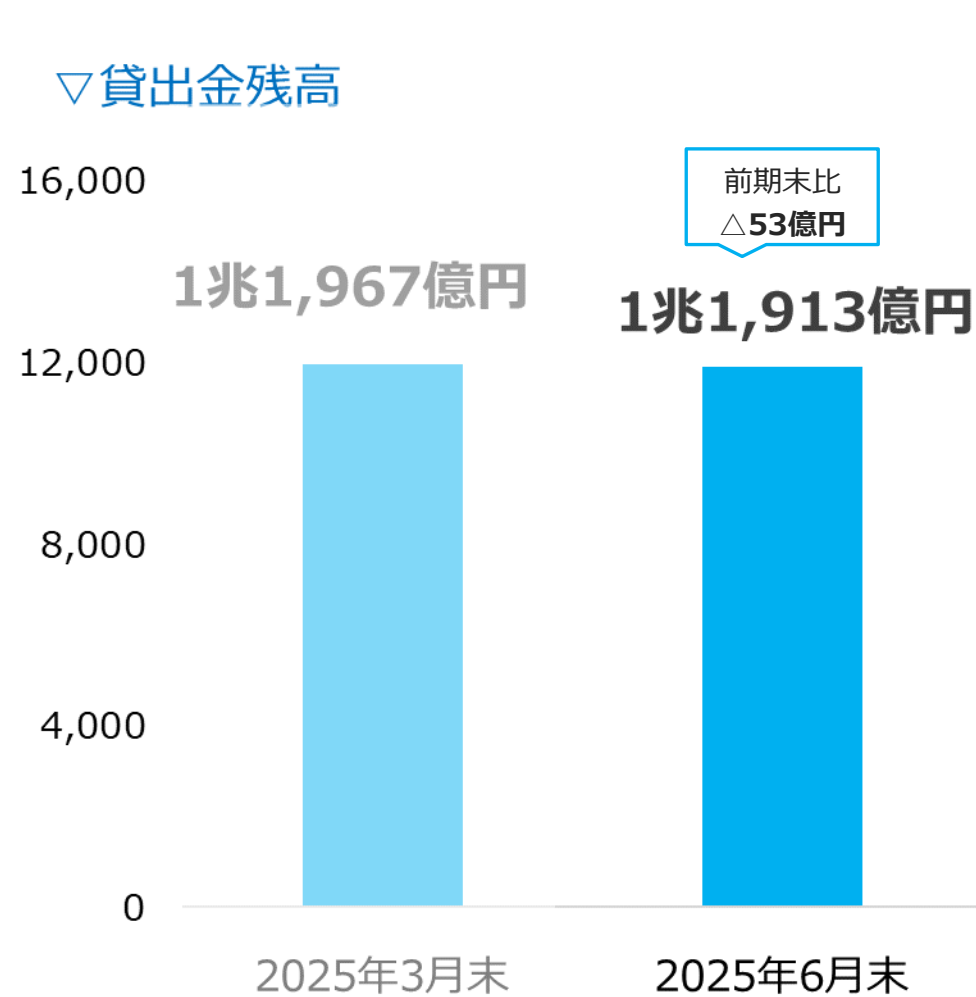
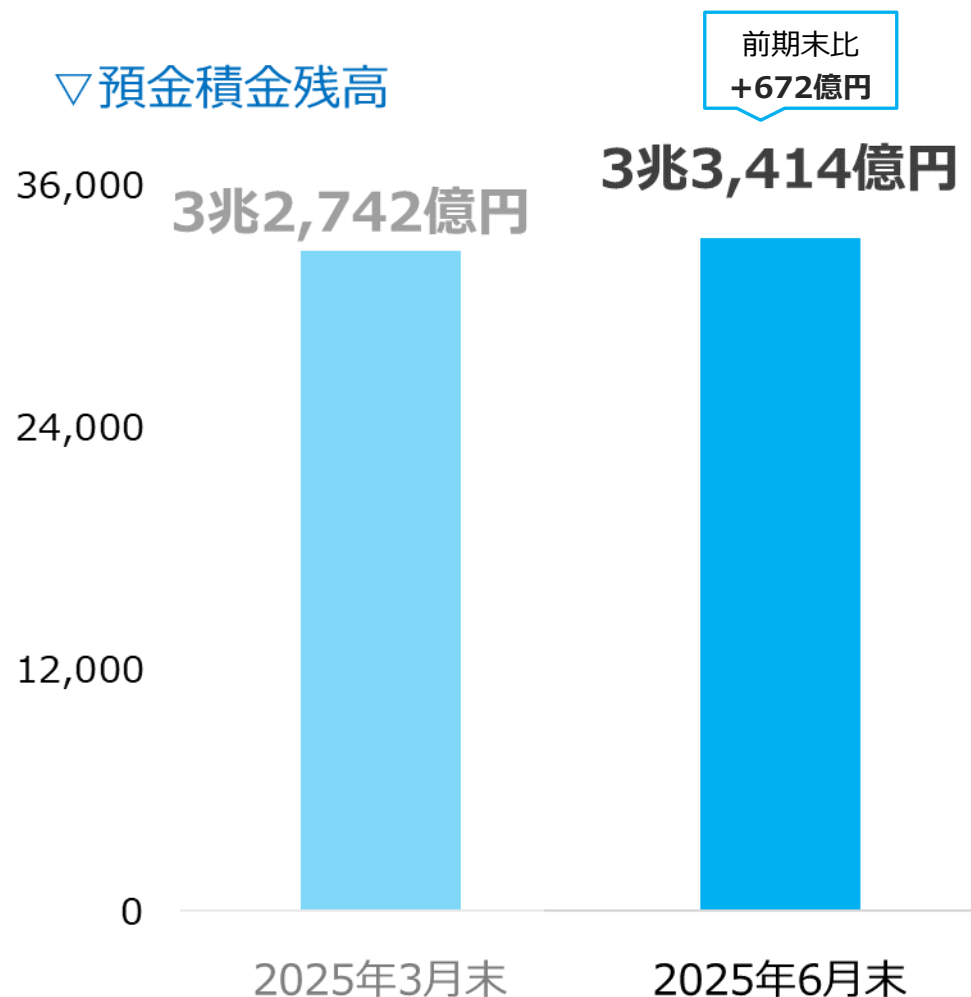
# たましんレポート2025.6

2025.4.1 - 2025.6.30



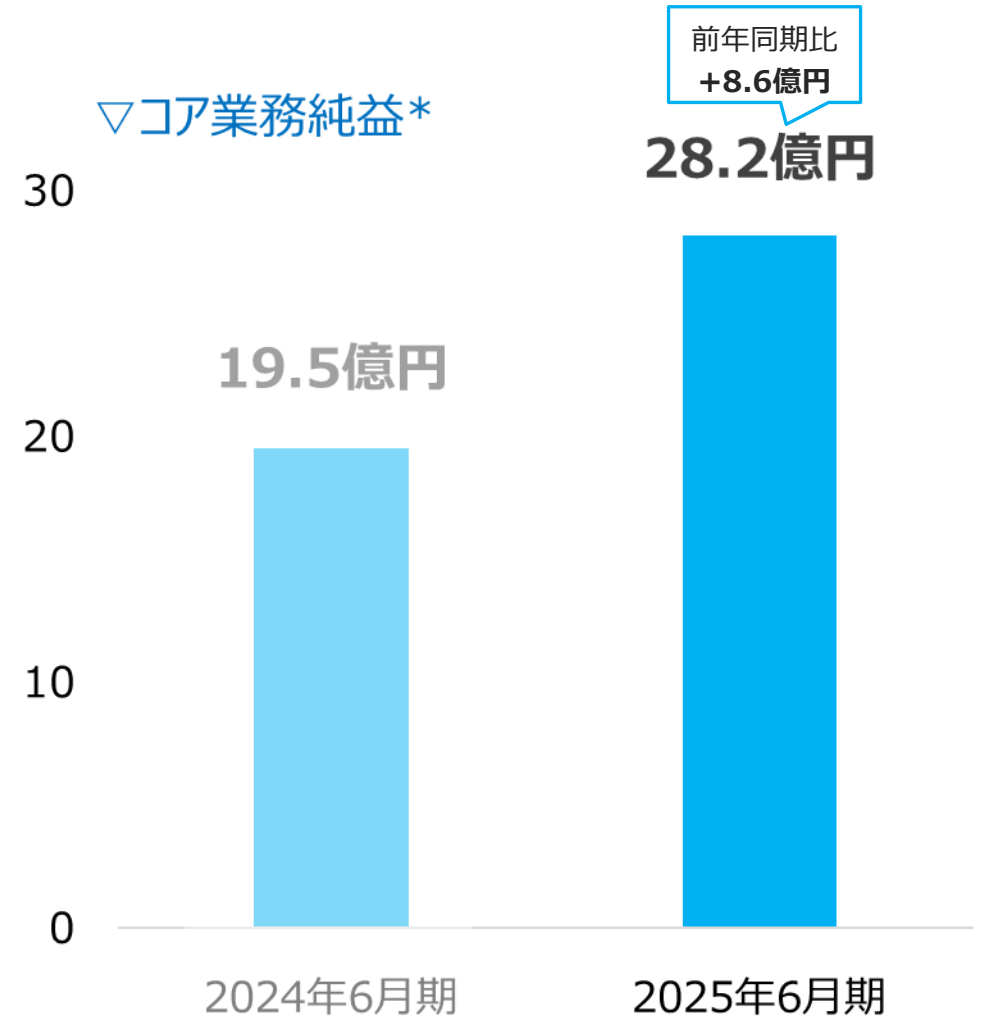
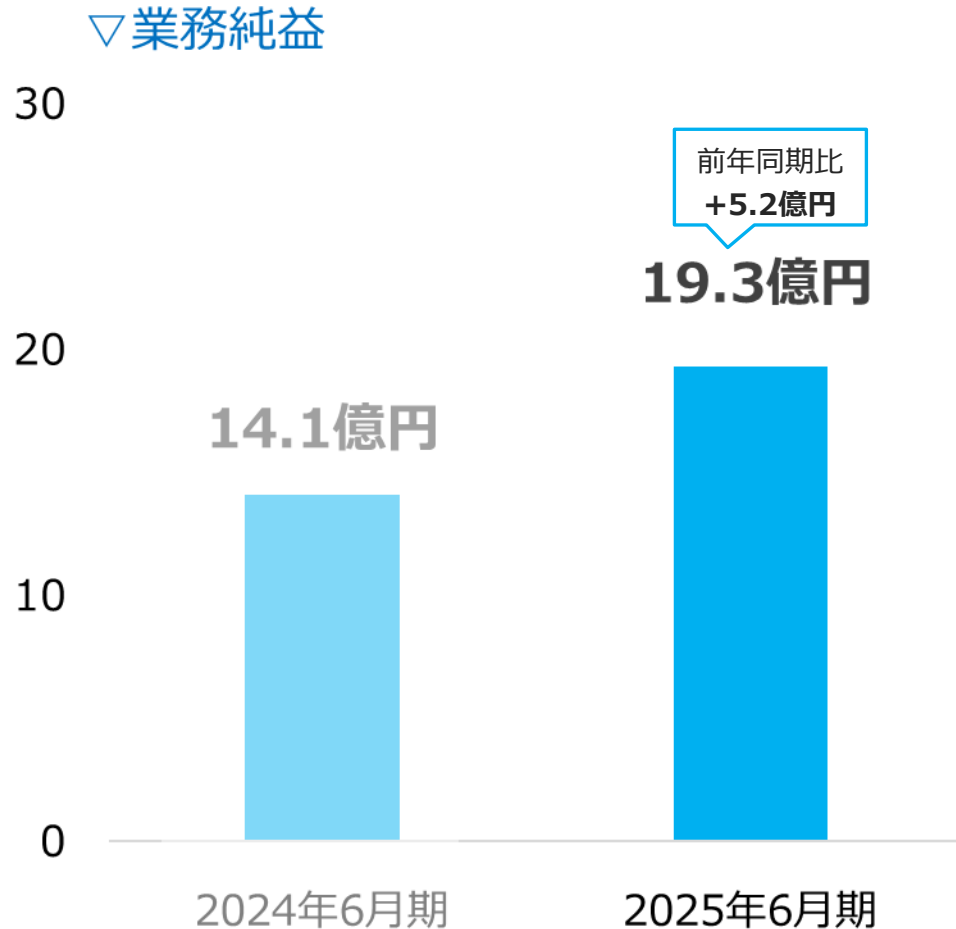
多摩信用金庫

- 地域の皆さまが抱える課題の解決に取り組んだ結果、預金積金残高は前期末比672億円増加の3兆3,414億円、貸出金残高は同53億円減少の1兆1,913億円となりました。



# 業務純益・コア業務純益

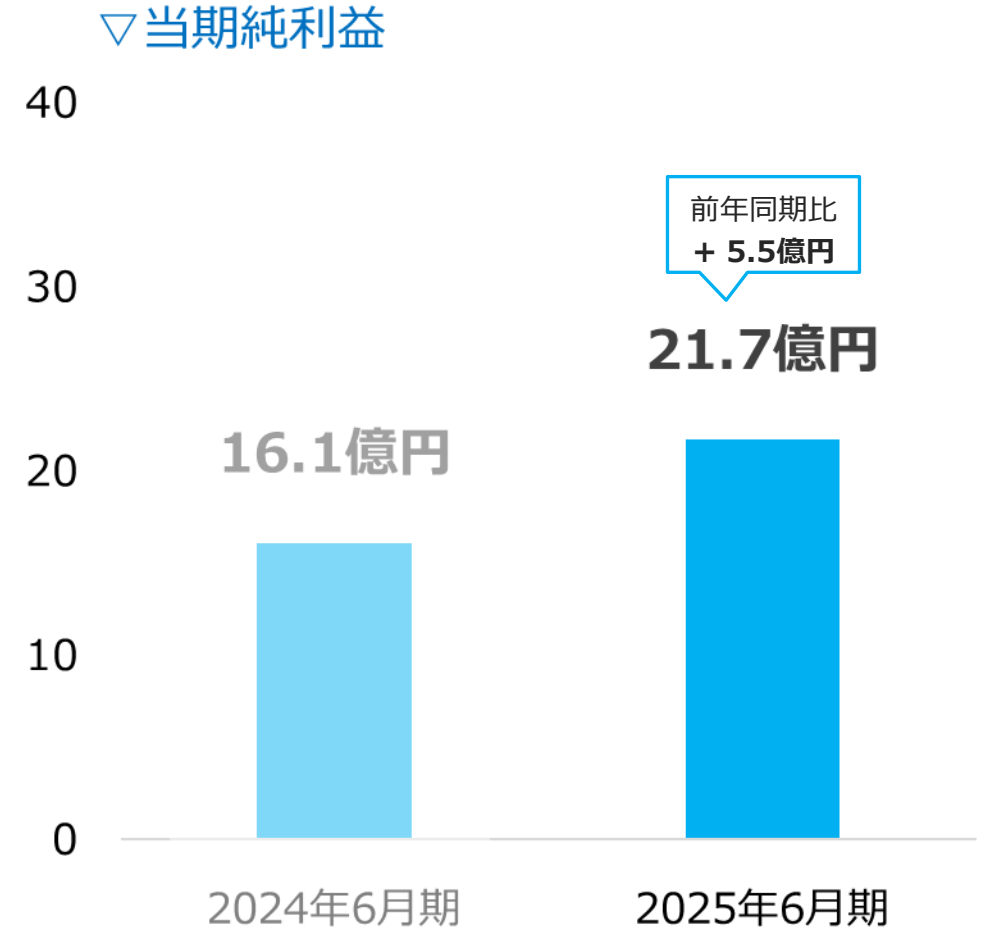
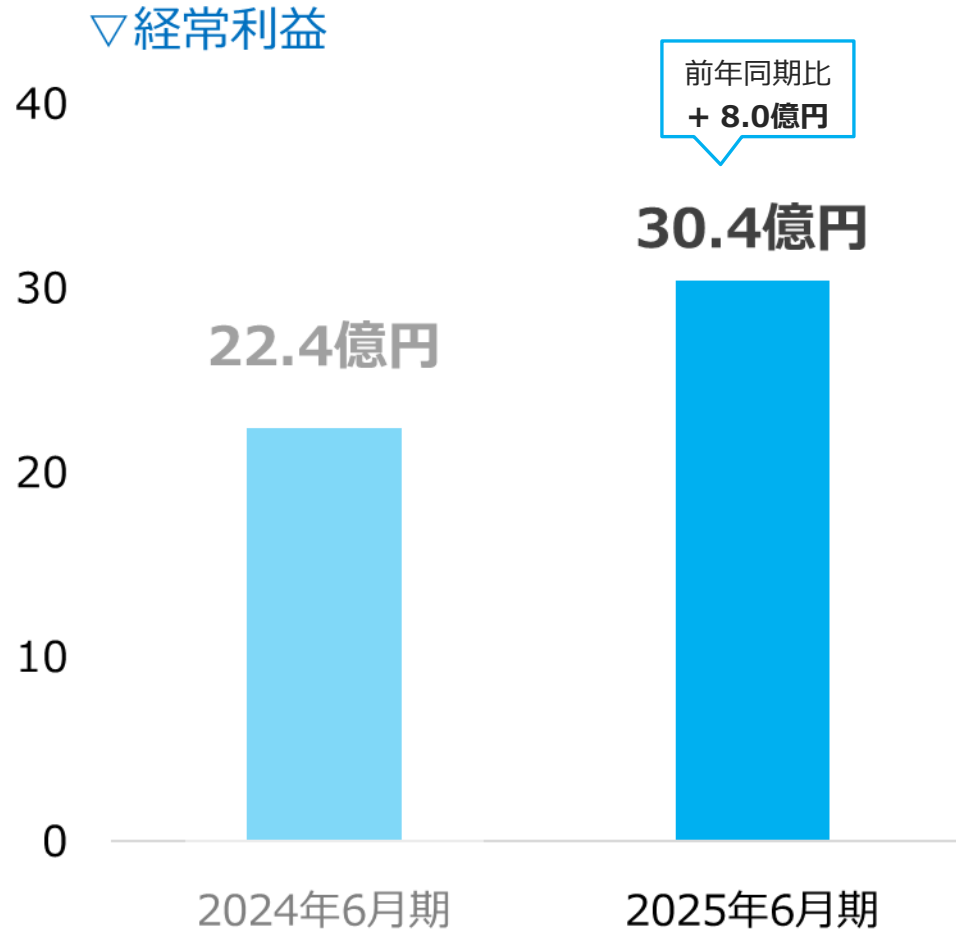
- 貸出金利息や預け金利息の増加などにより、業務純益は前年同期比5.2億円増加の19.3億円、コア業務純益は前年同期比8.6億円増加の28.2億円となりました。



\*コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

# 経常利益・当期純利益

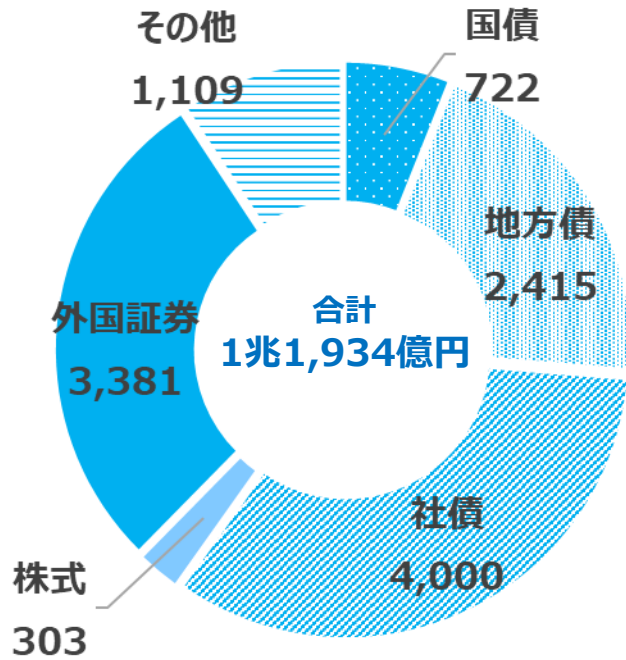
- 株式市場の動向を踏まえて株式等売買益を計上したことを主な要因として、経常利益は前年同期比8.0億円増加の30.4億円、当期純利益は同5.5億円増加の21.7億円となりました。



# 有価証券について

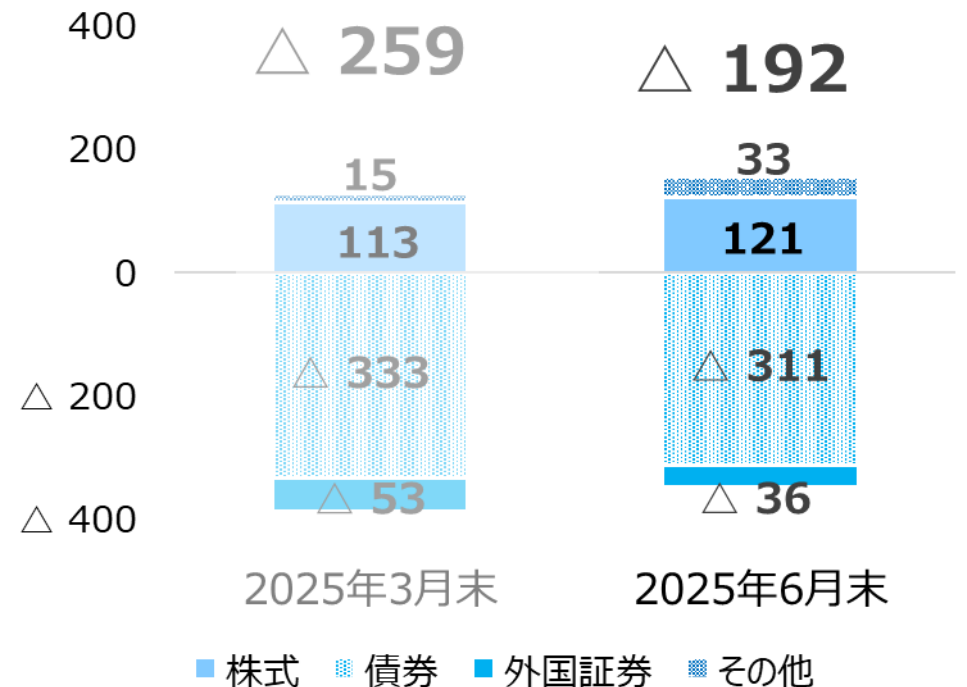
- 資金運用については、中長期的に安定した運用を心がけ、各種リスク管理を行ったうえで、国内外の債券を中心に株式や投資信託等に分散投資しています。
- 保有有価証券の評価損益は、国内金利が前期末比で低下したことや株式相場が堅調に推移したこと等から改善し、△192億円となりました。なお、「リスク管理」と「将来の収益確保」という観点から、運用資産におけるポートフォリオの組み換えを実施するなど適切に対応しています。

▽有価証券の種類別残高内訳 (単位：億円)



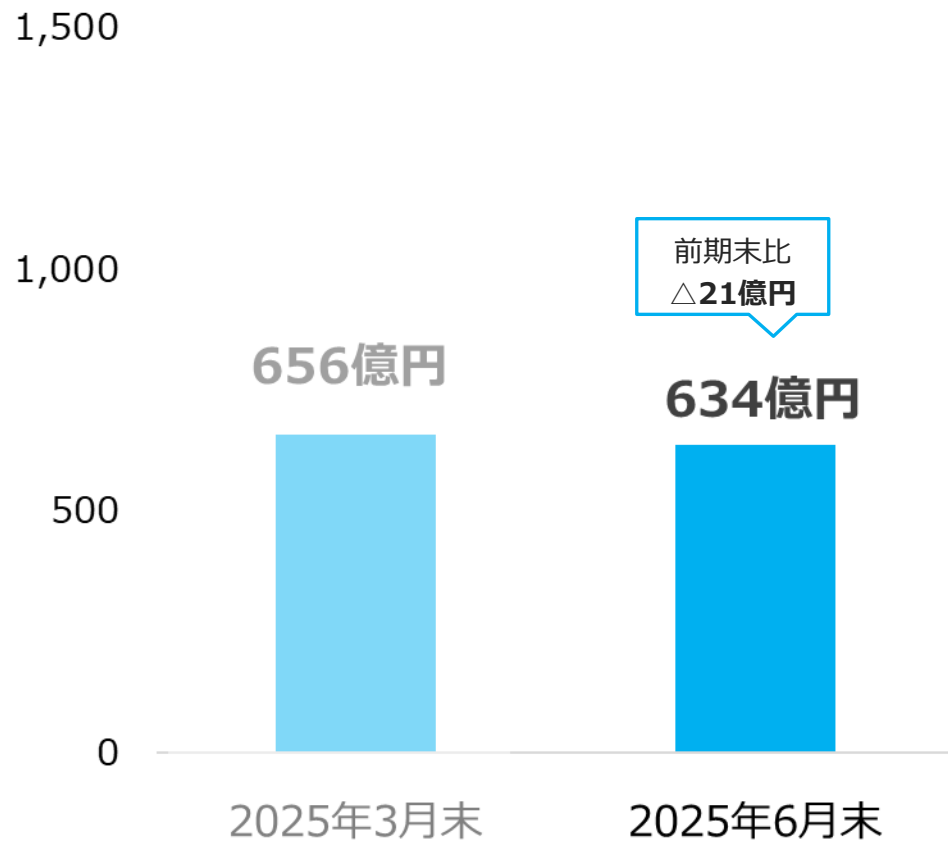
※ 有価証券の種類別残高は2025年6月末における貸借対照表計上額です。  
 ※ 両図の「その他」は、投資信託等です。

▽有価証券の評価損益 (単位：億円)

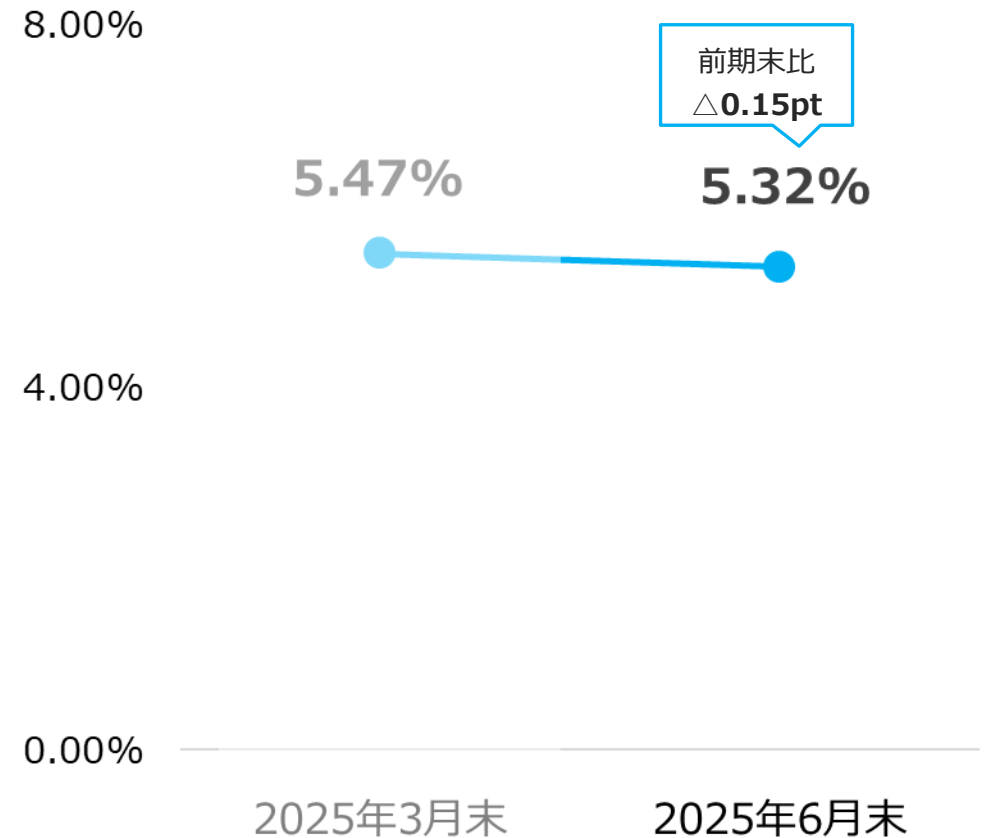


- 不良債権比率については、前期末比0.15ポイント低下の5.32%となりました。
- たましんは、前向きに事業に取り組むお客さまの悩みや課題を共有し、その課題の解決に向けて取り組んでいます。お客さまの経営環境が厳しい折にもできる限りの支援を継続していきます。

## ▽金融再生法開示債権残高



## ▽不良債権比率



※金融再生法開示債権は、貸出金のほか、外国為替、債務保証見返、仮払金、未収利息、たましんが保証する私募債を対象にしています。

## たましんレポート 2025.6

多摩信用金庫

〒190-8681

東京都立川市緑町3-4

TEL : 042-526-1111 (大代表)

発行 : 2025年8月

### お問い合わせ【お客さま照会センター】

本誌に関するお問い合わせは

**TEL : 0120-187-329**



(注) この四半期ディスクロージャー誌は、たましんが自主的に開示するものです。計数については、単位未満を切り捨て表示していますので、合計が一致しない場合があります。  
なお、内容や諸計数については、会計監査人の監査を受けておりません。本資料は、発表現在において入手可能な情報に基づいております。